

# 令和8年度 国語科 シラバス

## 1 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 2 3年間の指導計画の概要

月	第1学年	第2学年	第3学年
4	・オリエンテーション ・朝のリレー（詩） ・はじまりの風（物語）	・オリエンテーション ・見えないだけ（詩） ・アイスプラネット（物語）	・オリエンテーション ・世界はうつくしいと（詩） ・握手（物語）
5	・話の構成を工夫しよう（スピーチ）	・枕草子（古文）	・学びて時に之を習ふ（古）
6	・ダイコンは大きな根？（説） ・ちょっと立ち止まって（説）	・モアイは語る（説） ・読書活動	・作られた「物語」を超えて（説） ・俳句を味わう
7	・読書活動	・字のない葉書（随筆）	・実用的な文章・報道文を読もう
8	・夏季課題（ワーク等）	・夏季課題（ワーク等）	・夏季課題（ワーク等）
9	・大人になれなかった弟たちに……（物語） ・星の花が降るころに（物語）	・表現を工夫して書こう ・クマゼミ増加の原因を探る（説）	・挨拶——原爆の写真によせて（詩） ・複数の意見を読んで、考えよう
10	・グループでの語り合い ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ（説明文）	・魅力的な提案をしよう ・短歌に親しむ	・故郷（小説） ・和歌（君待つと一）
11	・いろはうた・竹取物語（古） ・今に生きる言葉（古）	・徒然草（古） ・平家物語（古）	・おくのほそ道（古） ・それでも、言葉を（説）
12	・「不便」の価値を見つめ直す（説） ・書写（書き初め）	・ヒューマノイド（物語） ・書写（書き初め）	・入試対策問題演習 ・書写（書き初め）
1	・冬季課題（書き初め） ・スピーチ ・作文	・冬季課題（書き初め、ワーク） ・君は「最後の晩餐」を知っているか（評論） ・走れメロス（小説）	・冬季課題（書き初め） ・入試対策問題演習 ・アラスカとの出会い（随筆）
2	・少年の日の思い出（小説）	・漢詩の風景（古）	・温かいスープ（随筆）
3	・二十歳になった日（随筆） ・ぼくがここに（詩）	・月夜の浜辺（詩） ・言葉の力（随筆）	・律儀な桜（随筆） ・わたしを束ねないで（詩）

※ 通年で文法や漢字等の言語事項についても学習します。

### 3 授業に向けて

#### (1) 持ち物

(細谷) 教科書・ノート

(有我) 教科書・ファイル・タブレット

(必要に応じて、国語便覧・ワーク・文法ワーク・辞書・書写の教科書・書道道具)

#### (2) 受け方

- ・チャイムと同時に授業が始められるよう、休み時間中に準備を済ませておく。
- ・小テストでは事前に予習をし、前向きに取り組む。
- ・話し合い活動では積極的に意見を交わし、考えを深める。
- ・提出物は丁寧に仕上げ、必ず期限内に提出する。

### 4 家庭学習の方法

漢字や文法等の知識は何度も繰り返し復習することが必要です。授業内で行われた小テストも活用しましょう。授業で書いたノートを見返したり、教科書を音読したりすることも有効です。また、ワークも繰り返し解くことで、教材の内容がより頭に入り、深い思考につながります。

### 5 評価の観点と項目例

#### (1) 知識・技能

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っているかどうかを定期考査や授業内の課題テスト等を基に評価します。

#### (2) 思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているかどうかを、定期考査に加え、スピーチや話し合い活動などの発表や、成果物を基に評価します。

#### (3) 主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているかどうかを、ワーク、定期考査や单元ごとの振り返りおよび小テストへの取り組み等を基に評価します。